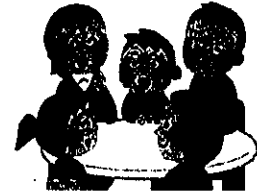


○中学生の部 最優秀作品

安心と笑顔のために



二本松市立二本松第一中学校 3年 喜古 朱里
きこ あかり

オレオレ詐欺の被害が後を絶ちません。

私は学校から帰って家族と夕飯を食べる間によくテレビでニュースを見ます。明日の天気や今日の出来事とともに時々耳にするオレオレ詐欺の報道にいつも箸を止めていました。最近は報道される頻度が以前よりも減っているように感じます。調べてみると、実際に年度別のグラフは右下がりになっていました。しかし、何億円にもものぼる大金を騙し取るその行為に私は怒りを覚えると同時に、私の祖父母が被害に遭ったら、と考えると心配になります。

最近、公民の授業で家族の形の変化について、少子高齢化の進行にともない三世代世帯が減少し、核家族世帯や夫婦だけの世帯、単独世帯が増加していることを学習しました。先生が「今おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に暮らしている人は挙手してください。」と声をかけたところ、およそ三十人のクラスメイトで挙手したのは私を含め四人だけでした。

私はこのことはオレオレ詐欺と関係があるのではないかと考えます。

高齢者が夫婦だけ、またはひとりで生活していることを知った犯人は、その高齢者を騙そうと考えます。そして、何かを口実に大金が必要だと言ったり、個人情報聞き出します。これを身近な人に相談できずに被害に遭ってしまうことになるのでしょう。

こういった問題を減らすために「コミュニケーションをとる」

ことが重要だと考えます。夫婦だけ、またはひとりで暮らす高齢者で寂しい思いをしている人がいます。また、核家族世帯として暮らす若い親で、はじめての育児に対する不安を抱え込んでしまう人もいます。だから会って、会えなくても電話などで話す、そうしてお互いの悩みを打ち明けたり何気ない会話をすることで被害を減らせたり、悩みを軽くできるのではないかと思うのです。

また、オレオレ詐欺の防止策として「家族で合言葉を決める」ことが推奨されています。お金や個人情報の要求はほとんどが電話の音声上でされます。電話の音声は実際の声とは聞こえ方が違うので気づかれなかったり、誤魔化せたりするからでしょう。だからまずは合言葉でお互いを確認する、それから話すことでなりすましを見破れるようになるのです。

この二つのことは私にも実行しやすい簡単なことです。例えば、一緒に暮らす祖母との会話の時間は大切にしています。また、離れたところで暮らす祖母とはたまにしか会えませんから、祖母の家に行ければ積極的に手伝いをしています。「ありがとう。」や「助かるよ。」の声は私をいつでも前向きにさせます。少しでも多くの被害がなくなって、元気をくれる笑顔が長く守られますように。

